

ちよと学人たすのひげき

今年の、十月二十三日ドクトリンとら
かがり来た。そ本は、新がた国モウ
うえつ大
しんさいがよこった日だ。
ぼくは、おどろいた。なんと、ぼくはサン
カ一の練習がよつてある体まかん
にいた。そ
して、コーチがまん中に集ま本
と行った。ぼ
くは、ボールが新しくにあつて
ボールを持つて
まん中によつまった。すこした、
こ、外に出
た。ぼくは、ちよとつあかつた。
そして外に
ひそが身、しいてあるものに
すあつた。ほん
ぞむたんげんだつたから。かなり
さむかつた。ちよとたつて
コーチがきてきたものをとつて
きていいといつた。あたり
前にボールもつり
てきた。馬ぞむは、あつて
ちよとはさむしな
くたつた。そして、はか
しお父さんてないか
なと思つた。ようかく、
お父さんがきてて馬ぞ
ムをもちてきてりて
はいた。そのある体ま
かんの手伝むしした。そして、
こはかか

新編 ちよと学人たすのひげき

かってきた。そおはお父さんのお母さんから
だった。いとこの一人が家に入るすまんをして
りて、とりのこさおているというごんはた
た。かえりみちりとの一人をのせをかえつ
た。夕づぼんは、その前の日にたんとカッブ
ラバメンまじめかりをしめてカッブライ
ンをとたべた。みんないじょうにかたと思つた
そして、カッとでんまがついた。ほつとした
かっこうにいってみんなりてほつとした。そ
してカッたら、あるニュースがながるた。そ
たそおは、いしんのニュースだった。でも、
いよいよにかいふくしてりるとながた。そ
したら、こう思つた。人間はしせんにかたな
いほどまたたあしていくぞカがまるとあかっ
た。

ナリゴに、ニどと女チないしんかをきない
てほつし。